



# ちゃんめろだより

第52号  
2018.5.15

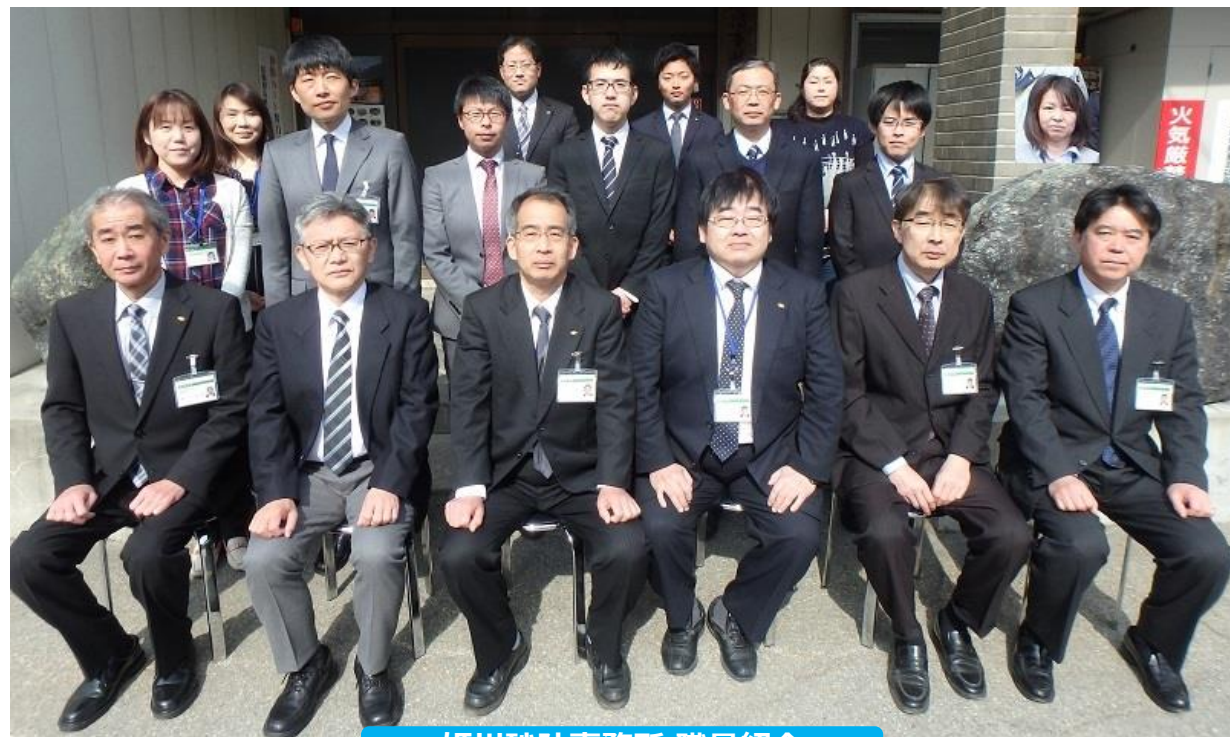


白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話0261-82-3100）

4月の定期異動に伴い、姫川砂防事務所の新体制がスタートしました。

6名が転退職され、例年に比べて少ない異動でしたが、国土交通省との人事交流が行われるなど、変化が多く、職員それぞれが勉強の毎日です。現在、純非常勤職員が欠員となっています。お手伝いいただける方のご応募をお待ちしております。



## 姫川砂防事務所 職員紹介

〈前列左から〉

塩入敦男	総務係長	4月から小谷村に来ました。緑豊かな自然を楽しみたいと思います。
小池治	砂防課長	赴任してからの2年間は大きな災害無し！今年度も自称「晴れ男」の力で災害無し！
木村智行	所長	昨年度に引き続き、自然豊かな小谷の生活を楽します。よろしく願います。
百瀬潔	総務課長	新年度の目標は自らのダウンサイジングです。皆様のご協力をお願いします。
竹村正	課長補佐	小谷2年目です。待望のグリーンシーズンを満喫しています。そしてまた過酷な冬が来る。
中島幸一	砂防第二係長	小谷2年目です。雪が多くてビックリしました。

〈中列左から〉

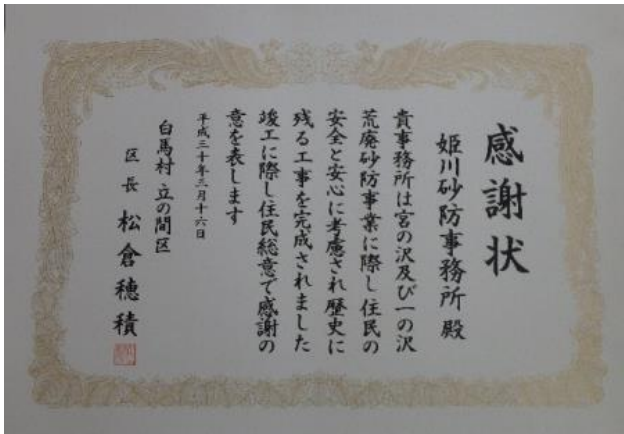
北村美穂	登記嘱託員	小谷の自然豊かな山々を満喫しながら、自然体で頑張ります。
岡村正樹	主査	沢山の自然の中で仕事ができることを楽しみにしています。
東海林和幸	主査	昨年は塩の道を全線踏破しました。今年も挑戦したいと思っています。
野坂隆幸	技師	小谷1年目です。新しい環境に早く慣れて、色々なことに挑戦したいと思います。
市澤圭治	担当係長	2回目の姫川砂防事務所です。学生時代に戻った気分で寮生活を送りたいです。
黒岩楠央	技師	小谷2年生です。今年も散策や温泉を巡って楽しみたいと思います。

〈後列左から〉

松本志織	主任登記嘱託員	1年間、笑顔でがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。
森山寛章	主任	姫川砂防3年目です。今年は行動の半径を広げてみたいと思っています。
良川健太	主事	3年目になります。小谷・白馬での生活を楽しまたいと思います。
齋藤万里奈	寮母	2年目になります。おいしいと言ってもらえる食事提供をしていきたいと思っています。
松原志保	協会職員	3年目になります。初心の気持ちを忘れずに。今年度もよろしくお願いいたします。

職名	氏名	転出先
専門幹兼総務係長	田中 透	長野建設事務所 維持管理課
担当係長	池田 雅彦	佐久建設事務所 整備課
技師	青木 克弘	環境部 生活排水課
技師	諏訪 有祐	国土交通省 砂防部

通常砂防 立の間 竣工式典に出席しました



3月26日、立の間生活改善センターに於いて、「通常砂防事業 白馬村 立の間工区」の竣工式典が、地元立の間区の主催で開催されました。地元役員、宮澤県会議員、白馬村、施工業者代表の姫川建設株式会社及び当事務所の総勢14名の関係者が出席しました。立の間地区からは「住民の安全と安心に考慮し、歴史に残る工事を完成させた」として感謝状をいただきました。

また、地元住民の皆様、宮澤県会議員、関係機関、施工業者の方々のご協力を得て、事業が事故もなく完了しましたことに心より感謝申し上げます。

平成30年度 姫川砂防事務所の事業予算について

当事務所における平成29年度予算及び平成30年度当初予算の概要は次のとおりです。

2月補正と平成30年度当初予算合計で対前年度比約115%の予算額が確保できました。

計画的で効率的な事業執行及び神城断層地震関連事業の速やかな復興・復旧に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いします。

事業種別	平成29年度 当初予算		平成29年度 2月補正予算		平成30年度 当初予算	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
砂防	16箇所	6億7600万円	3箇所	9500万円	14箇所	4億9300万円
地すべり対策	15箇所	7億7000万円	7箇所	3億4200万円	13箇所	5億5300万円
雪崩対策	2箇所	1億6000万円	1箇所	7000万円	2箇所	2億3800万円
計	33箇所	16億600万円	11箇所	5億700万円	29箇所	12億8400万円
※公共事業内示額						

# 現場紹介No.1

## 北湯原沢 砂防堰堤工事 (北安曇郡小谷村 湯原地区)

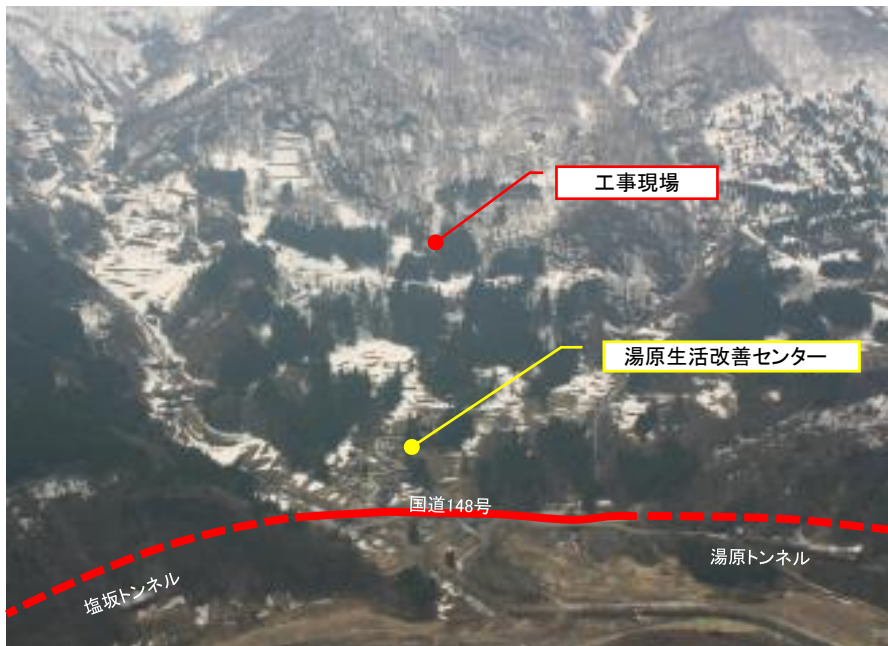
### ■本事業について

北湯原沢はとても小さな沢ですが、沢沿いの地質はとても弱く、谷にはたくさんの土砂がたまっており、大雨が降ったときには、土石流が発生する危険性が非常に高い沢です。

この事業は、上流で発生した土石流をくい止めるための砂防堰堤を1基建設し、下流に住んでいる皆さんの家や田畑、国道、村道等を守ることを目的としています。

現場位置図

姫川対岸からの写真



### ■工事の進捗状況について

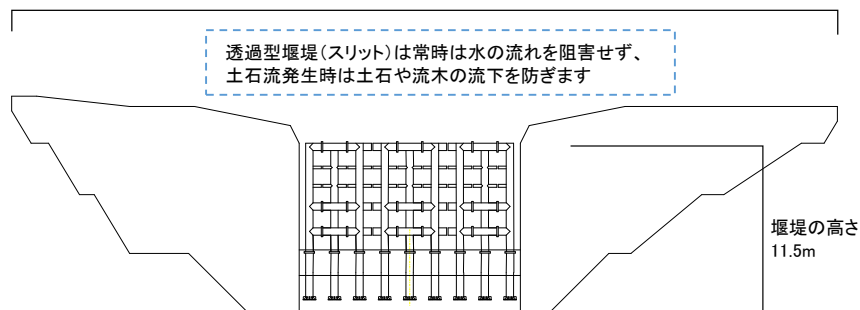
工事は平成28年の秋から始まっていますが、現場が山奥で重機が入っていく道がないため、その道路をつくる作業を去年の夏まで行いました。去年の秋からは堰堤をつくる場所の掘削工事にとりかかり、今年の6月頃から生コンクリートの打設作業を始める予定です。

すべての工事が完了するのは平成32年の秋頃になる予定です。



現場全景 (4月下旬ドローンにより撮影)

堰堤の長さ 56m



構造図 (正面より)

### ■代理人さんから一言

北湯原沢のこの現場は、土石流災害から湯原集落や国道148号を守るための工事であり、安心できる地域作りに日夜奮闘しています。

地山の崩壊などの危険性が常にある現場なので、作業員の安全を第一に考え、事故を起こさないよう細心の注意を払って作業を行っています。

金森建設株式会社 山田 清



## 塩の道祭り（小谷村）に参加しました

5月3日に開催された塩の道祭り（小谷村）に参加しました！道中の史跡や景観、地元のおもてなし等を楽しみながら、千国コース約9kmの道のりを踏破しました。

### 塩の道とは？

「敵に塩を送る」という言葉の由来となった、上杉謙信が武田信玄に塩を送り届けた逸話の舞台とされる輸送路です。延長は約120kmで、糸魚川市～松本市をつなぎます。

この塩の道(千国街道)を歩くお祭りが、毎年5月初旬に行われ、大勢の人が参加しています。



朝方は雨が降っていましたが、歩きだしてからは少しばらつく程度の小雨となり、雨具を使わず歩くことができ幸いでした。



←休憩中の一場面。  
ボッカ（歩荷。背に荷物を背負う運搬人）の衣装で参加される方もいらっしゃいました。  
昔はこのような恰好で塩や海産物を山国に輸送したそうです。



道中いくつかの休憩所があり、地元のおもてなし（写真左）ではお茶や軽食が無料で提供されました。出店がある休憩所もあり、山菜の天ぷら盛り合わせ（写真右）はお皿からはみでるほどのボリュームで200円でした！この天ぷらの売り上げは2016年の大火で被災した糸魚川市の復興支援に使われるそうです。



## 雪囲いを撤去しました



4月19日、晴天に恵まれ、雪囲いの撤去とタイヤ交換等を行いました。デスクワークばかりの私は、普段使わない筋肉が悲鳴を上げましたが、翌日疲れが出ましたので若いのかも知れません。

今年は雪囲い作業に負けない身体づくりが目標です。